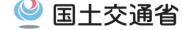
「汁谷川みんなで地域観測プロジェクト 第1回ワークショップ」を開催しました



三重河川国道事務所

- ○香川大学と国土交通省が共同(※)して、危機管理型水位計の有効な活用手法を検討しています。
- ○その取組の一環で、10月13日、伊勢市小俣地区のみなさまと**川の水位や地域の様子を確かめ、地域でどう行動する** のかを考えるワークショップを開催しました。
- ○計24人の方に参加いただき、**地域の防災活動の状況確認から、課題、それに対する地域の対応について活発な議論**を ※令和3年度河川砂防技術開発公募 河川技術部門河川技術・流域管理分野 していただきました。

提案課題:地域課題(ローカル観測の地域防災への浸透過程に関する分野)にて香川大学と共同で実施

◇開催概要

時:令和3年10月13日(水)1部 17:00~18:30

2部 19:00~20:30

所:小俣公民館 講堂

議 題:①地域での防災活動の状況確認

②地域が抱える防災上の課題

③危機管理型水位計の活用方法の検討

出席者:伊勢市小俣地区(汁谷川流域の8自治会) 24人

関係者:香川大学、長岡技術科学大学、大阪工業大学、

伊勢市、三重河川国道事務所



【進行およびプロジェクトの説明】 香川大学 創造工学部 講師





参加者の主な意見

- ・避難タイミングの伝達方法の難しさを感じている
- ・新たに転入された方などへの過去の水害経験の伝承等が必要



※新型コロナウィルス感染防止のため、ソーシャルディスタンスの確保、 マスク着用、消毒、検温等を徹底して開催。